

市長提出議案等の審議結果一覧

	件 名	各 会 派 の 賛 否										審 議 結 果
		公 明 党	創 生 市 川	無 所 属 の 会	日 本 共 産 党	緑 風 会 第 1	自 由 民 主 党	緑 風 会 第 2	立 憲 民 主 ・ 社 民	市 民 の 風	市 川 市 を 良 く す る 会	
○市長提出												
議 案 第20号	市川市個人情報保護条例及び市川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	可 決
21号	市川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
22号	市川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
23号	市川市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例の一部改正等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
24号	市川市クリーンセンター余熱利用施設の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
25号	市川市ベンチャービジネス等支援資金融資及び利子補給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
26号	市川市中小企業独立支援資金融資及び利子補給条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
27号	市川市水洗便所改造資金貸付条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
28号	市川市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
29号	市川市学習交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	可 決
30号	令和3年度市川市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
31号	令和3年度市川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
32号	令和3年度市川市下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
33号	市川市スポーツセンター陸上競技場整備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
34号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
35号	学習用タブレット等の購入について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
諮 問 第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（栗原浩氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可答申
報 告 第18号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
19号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
20号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
○請 願												
請願第3 - 3号	「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を基地建設の埋め立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※可答申：異議ない旨答申
※議案の全文及び議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

請 願

9月定例会には、新たに
請願1件が提出され、所管
の委員会にて審査し、議会は
これを採択しました。
(審議結果は左表)

意見書・決議

9月定例会には、意見書
案及び決議案14件が提出さ
れ、議会は、のうち6件を可
決し、8件を否決しました。
可決した意見書は、9月
16日に関係行政庁等へ送付
しました。
(審議結果は7面)

出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円で、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4000円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賅えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。

国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年度にそれを恒久化、2015年には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万6000円に引き下げ、本来分39万円を40万4000円に引き上げた。2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1万2000円に引下げ、本人の受取額を4000円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握した上で増額に向けて検討することとしている。

一方、令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。

よって、本市議会は国及び政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求める。

○令和3年定例会開会予定日○

12月定例会 | 11月29日(月)

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

○つかこしたかのり	市川市を良くする会	○小泉文人	市民の風	○かつまた竜大	中ちや正けい	立憲民主・社民	○松永鉄兵	松井みさ子	緑風会第2	○かいづ伸一	中田幸紀	自由民主党	○荒木詩郎	青木雅斗	鈴木清海	緑風会第1	高坂徳進	金や美智子	清なぎみ子	日本共産党	越川雅史	秋本のり子	石原友樹	佐直友正	増田好徳	○無所属の会	岩井清郎	加藤武郎	稲葉健二	石久保たけし	国原ひるき	○松永修巳	創生市川	堀越優	大場均	宮本よし	中本さとし	浅野おち	久保隆志	小川直人	○西田敦	公明党	会派別議員名簿 (定数42名)
-----------	-----------	-------	------	---------	--------	---------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	------	--------	------	------	------	--------	-------	-------	------	-----	-----	------	-------	------	------	------	------	-----	--------------------

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。
(この会派別議員名簿は令和3年10月27日現在のものです。)

●議員からの寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）は公職選挙法で禁止されています●